

第4学年

新たな価値を創造する力
現状を知り、他の方法を考える

対立やジレンマに対処する力
互いの考えを伝え合い、様々な考えがあることを知る。

責任ある行動をとる力
行動したことを振り返り、修正したり次に生かしたりす

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を育成するためのカリキュラムデザイン

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

A
ものづくり

B
地域の創生

みんなが住みよい町へ 30時間

算 折れ線グラフ
(データの活用) 3時間

折れ線グラフの特徴とその使い方を理解すること。

(知、技) グラフや表の特徴や読み取り方を理解することを通して、問題の発見・解決に必要な情報を収集・活用するための知識・技能を身につけることができるように

国 お礼の気持ちを伝えよう
(話す・聞く) 2時間

相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた題材を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

〈学、人〉講師の方々との関わりを通して、感じたことや考えたこと、感謝の気持ちを伝える手紙を書く活動を通して、実社会で活躍する人などとの対話を大切に、問題の発見・解決に資する情報収集に進んで関わろうとする態度を身に付けることができるようにする。

国 パンフレットを読もう
(読む) 2時間

文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

(思、判、表) 伝わりやすいレイアウトのために試行錯誤を繰り返しながら工夫して作る活動を通して、問題を発見し、解決方法を考え、結果を予測しながら試行錯誤し解決方法の実行を繰り返し、問題解決を図る力を身に付けることができるようにする。

算 がい数の使い方と表し方
(数と計算) 3時間

日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えとともに、それを日常生活にいかすこと。

国 聞き取りメモのくふう
(書く) 2時間

必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

社 自然災害からくらしを守る
(わたしたちの大田区) 6時間

地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定させる災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

国 新聞をつくろう
(書く) 2時間

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注視したりして、文章の構成を考えること。

図 ちかごろむちゅうです
(ポスター) 1時間

表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

総 9時間

コラボ先

大田区福祉管理課
大田区手をつなぐ育成会

みらいフェスタ